

コミュニケーションを容易にする車椅子電動化装置

新技術の概要

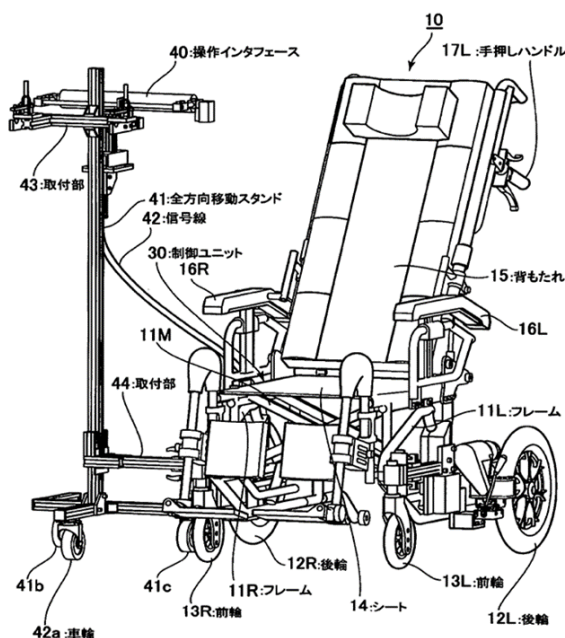
介助操作者を必要とする電動車椅子において、操作者が車体後方および側方から車椅子を操作できるようにすることで、搭乗者と操作者のより密接なコミュニケーションを可能とする車椅子電動化装置を提供する。

本発明によれば、駆動部の手動車椅子のフレームへの着脱は容易であり、しかも、駆動部は手動車椅子の大径の後輪を回転駆動する。従って、電動車輪としての後輪が大径であるので、移動性能を高くできる。

インターフェースは車椅子基部のフレームと連結され、リクライニング（背もたれのみ倒れる）、ティルト（座面と背もたれを一体で倒せる）の程度に関係なく車体と連結できる。

【本発明の車椅子電動化装置】

【本発明の実証用二次試作機】



本発明に係る車椅子電動化装置は、手動車椅子の第1のフレームに着脱され、手動車椅子の第1の後輪を回転駆動させるための第1の駆動部と、手動車椅子の第2のフレームに着脱され、手動車椅子の第2の後輪を回転駆動させるための第2の駆動部とを具備するものである。

本技術のアピールポイント

- 従来の車椅子は後ろから介助者が操作するため、搭乗者の顔が見えず様子がわかりにくく、会話も不自然となっていた。
- 本発明の車椅子電動化装置では、介助者が横立って並走する形で操作するため、搭乗者の様子がわかり、会話も自然となる。

用途分野

・車椅子

特許情報

発明の名称 車椅子電動化装置

発明者 遠藤 玄ほか

出願番号 2018-003986（出願日2018/01/15）

特許番号 7053000号（登録日2022/4/4）

本学整理番号 17T052